



連合駿台会報

No.331 平成29年1月15日発行
 発行・編集 連合駿台会

発行人 広報委員長・齋藤柳光
 編集人 事務局・矢嶋まゆ子
 〒101-0052千代田区神田小川町三十一-二
 明治大学「紫紺館」内
 電話 (〇三) 三二九六一四七七
 印刷 有限会社 美 創

新たな飛躍の年へ
 新年あけまして
 おめでとうございませす

連合駿台会
 会長
 田村 駿



昨年は、会長はじめ多くの役員の変更がありました。皆様のご支援、ご協力により当会の目指す運営並びに活動が順調に推移いたしましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

昨年の日本は、熊本大地震など大災害もありましたが、スポーツではリオ・オリンピックにおける日本選手の活躍に国中が燃え上がりました。政治は安定した安倍政権で推移し、女性初の小池東京都知事が誕生、天皇陛下は退位のご意向をお示しになり、懸案の口口交渉が行われたあと年末には、歴史に区切りをつける安倍・オバマ会談がもたれ日米同盟が深化するなど、様々な動きがありました。世界の動きを見ると、パリでの無差別テロ

以降テロの脅威が各国共通のそして喫緊の課題となりました。政治経済面では、六月の国民投票による英国のEU離脱を決定、移民労働者の流入が大きな問題となりました。十一月にはアメリカ大統領選では大方の予想に反しトランプ氏が選ばれ、世界中がトランプショックに巻き込まれ極端なポピュリズム思想が台頭し、排他的な風潮が強まっています。今年、欧州では中東難民問題を抱えている中、オランダ、フランス、ドイツで新たな指導者を選びます。誰が国民から選ばれるのか? で大きな「変化」がありうると考えられます。

いずれにしても日本は、国際社会の動向を注意深く見守りながら明確なポリシーで外交

などを推進していかねばなりません。今年はトランプ旋風が吹き荒れる中、不透明で不確実な対応で難しいかじ取りが求められる一年になるのではないのでしょうか。

さてわが母校は昨年、理事長、学長をはじめ多くの役員が交替し、新たな体制となりました。そして十八歳人口の減少で大学経営が大変難しい時代に入り、文科省の一般定員厳格管理要請に対し、その対応策として学則の一部改正を行い二〇一八年度から入学定員及び収容定員を増員することを決定しました。二〇一一年に策定した「長期ビジョン」を達成するためにも、まずはここ数年経営上の課題となつている帰属収支差額の赤字を解消し健全な財政基盤構築が不可欠であります。

当会も新体制となり、五つの委員会を統括する運営委員会で、「会員間の親睦」と並ぶ会の二大目的の一つであります「大学支援」に向けて、従来からの学術賞などの各種支援に加え、創立一四〇周年を見据えた「連合駿台会大学支援寄付金制度」(仮称)を検討しております。使用用途を明確に大学に要求し、会員の皆様から任意の寄付金を募る制度であります。大学支援のため是非実現したいと考えておりますので多大なるご支援、ご協力を賜りたく存じます。

最後に会員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



連合駿台会の皆様のご活躍とともに

学校法人明治大学
理事長
柳谷 孝



二〇一七年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。連合駿台会の会員の皆様におかれましては、日頃より本学の運営に対し、深いご理解と格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、年始のご挨拶にあたって連合駿台会の結成とその後の発展にご尽力された先輩方に思いを致し、理事長室にある『連合駿台会五〇年の歩み』（二〇〇四年七月発行）を精読いたしました。その中で歴代運営に関わった方のお名前を見ますと、本学の理事長・理事、評議員など法人運営に参画された方を多くお見受けし、改めて連合駿台会の方々が本学の発展に貢献されていることを強く実感しました。今もなお、かくも多くの方が連合駿台会の下に集い、母校に関わっていただけることは、法人役員のみならず学生・教職員にとっても大変励みになることであります。皆様のご活躍は、今こうして本学が高い評価をいただいていることに紛れもなくつながっているものであり、誠に有難く感じております。今年も、「世界へ―国際人の育成と交流の

ための拠点 世界で活躍する強く輝く『個性』を育てる教育研究の実現」を掲げる本学の長期ビジョンを具体化した第一期中期計画が最終年度を迎えます。そこで、来たる創立一四〇周年も見据えた上で、新たな時代に相応しい第二期中期計画の策定を進めてまいります。

また、教育研究環境を力強く支え、世界に伍する大学としていくためにも、本学全体を俯瞰し、優先順位を見極めながらメリハリをつけて経営資源を投資し、更なる発展に向けて邁進いたします。そして、教育研究活動を推進することにより「個性を強くする大学」を理念とする明治大学が、「評価される大学」「魅力あふれる大学」であることを一段と社会に示していくとともに、本学のステークホルダーの方々からのご理解を一層賜り、支援の輪を広げる取組みにも尽力いたす所存です。

連合駿台会規約第三条には「会員相互の研鑽、親睦を図ると共に母校の発展に寄与する」との目的が示されています。母校明治大

学のプレゼンスを更に高めるためにも、皆様方におかれましては本年も一層社会で活躍いただくと同時に、本学への倍旧のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、連合駿台会の益々のご発展と、会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



明治大学を圧倒的存在にするために

明治大学
学長
土屋 恵一郎



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。連合駿台会の皆さまにとつて、昨年ほどのような一年であったでしょうか。明治大学にとつては、昨年は飛躍の年でありました。新体制のもとで、大学全体が力を結集し、ひとつずつ課題を克服してまいりました。その成果は、文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」及び「大学の世界展開力強化事業」の採択につながりました。明治大学の教育力・研究力を社会に広く示すとともに、トップ・ユニバーシティに向けたステップアップを着実に刻むことができた一年でありました。今年も引き続きこの飛躍をさらに前へと推し進めて、明治大学を圧倒的存在にするために努力していきたいと覚悟いたしております。

さて、今年、大学における教養教育「リベラル・アーツ」を強化する方法を検討していく年であるとともに、アクティブ・ラーニングというスタイルをはじめとした、主体的学びを促進する新しい形の教育を如何に展開できるかが課題であると考えております。

古代ローマのストア派の哲人・セネカは、

「リベラル・アーツ」を世界市民（コスモポリタン）のための教育であると言いました。つまり自分の生まれた場所の習慣や言葉から解放されて、世界のうちの異なる文化と言葉にふれることで自分を自由にすることが、リベラル・アーツであると言いました。大学教育の根本は、この自由を胸いっぱいを感じることです。大学が異なる言語を教え、社会科学の学部学生にも物理学を教えるのは、世界の広がりと同様性を、そして宇宙のなかの人間を知るためです。そこに本当の意味での「グローバル（地球）人材」がいます。大学生としての知性と感性を涵養するために、大学は教養教育の骨格を確立する必要があります。

一方、アクティブ・ラーニングは、現在のトピックになっていますが、明治三十六（一九〇三）年に、明治大学の創立者の一人である岸本辰雄先生が、このことについて実に面白いことを言っています。岸本先生は、日本の教育が明治時代に至るまで服従の教育であったことを語ったうえで、私立学校設立の

意義は、この服従の教育を脱却して学生の自由で主体的な学び方に足を置いた教育へと向かうことであると言っています。岸本先生は「自由放任主義」こそ私立学校の思想であるとさえ言っています。そして、「諸君が最後の教育者、最上の教育者は諸君自身たることを記憶せんことを要す」と学生に語ったのです。アクティブ・ラーニングをこの岸本先生の教育思想に立って考えると、そこに明治らしい新しい教育の姿が見えてくるのではないかと思います。

教養教育という大学教育の基盤を確固としたものにし、新しい形の教育を導き出すためにも、必要な施策を提案してまいります。そして明治大学の根幹をさらに強化していく所存です。新年をこの希望へとつなげるために、連合駿台会の皆さまとも活発な議論を行いたいと思っております。共に前へ進みましょう。

結びにあたり、連合駿台会のみますの発展と会員各位のさらなるご活躍を祈念申し上げます。



謹賀新年



株式会社三井住友銀行

常務執行役員 石井 仁

〒100-0005 千代田区丸の内一―一―二
TEL 四三三三―二七九五

税理士法人あい&ゆう税務会計事務所

代表社員 石橋 良一

〒142-0022 品川区二葉二―二四―九―一〇―一
TEL 三七八三―一―二七五
FAX 三七八三―一―二七五

三八五流通株式会社

常務取締役 泉山 和久

〒039-1189 青森県八戸市長苗代上中坪三五―一
TEL 〇二七八―二七―一四一四
FAX 〇一七八―二七―一五〇九

明治大学評議員・校友会副会長

岩田 守弘

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘一―一四―一六
TEL&FAX 〇七七―五二六―〇八〇二

株式会社チュチュアンナ

代表取締役 上田 利昭

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央一―一〇―二
TEL 〇六一七―一七六一―五四七
FAX 〇六一七―一七六一―五六二

株式会社エービーコーポレーション

代表取締役 阿部 倫明

〒980-0004 仙台市青葉区宮町三一八―一三三
TEL 〇二二―二七―〇〇三三
FAX 〇二二―二五―一〇〇八

明治大学顧問

新井 久晴

〒360-0833 埼玉県熊谷市広瀬八〇〇―二―二六〇六
TEL 〇九〇―三三七八―七八五二

株式会社ニチレイフーズ

代表取締役社長 池田 泰弘

〒104-8402 中央区築地六―一―九―二二〇
ニチレイ東銀座ビル
TEL 三二四八―二二―二二
FAX 三二四八―二二―四〇

Blue Green Group INC.

代表取締役社長 青柳 勝栄

〒168-0064 杉並区永福三―三三―一―一五
TEL 〇九〇―八八一―四六一八
FAX 三三三―八―一五三八五

TCI株式会社

代表取締役 坏 昭二

〒150-0011 渋谷区東二―二七―一―一〇
TEL 五四六七―〇〇三六
FAX 五四六七―九三三七
E-mail:shojia2@tcj.co.jp

足立会計事務所

税理士 足立 吉松

〒410-0832 静岡県沼津市御幸町二四―一三〇
TEL 〇五五―九三二―六三九一
FAX 〇五五―九三四―〇一二五



連合駿台会 専務理事

上西 紘治

〒244-0803 横浜市戸塚区平戸町七七五-1-1
TEL & FAX 〇四五-八二二-六四三
携帯電話 〇九〇-三三三-四七三九

株式会社藤枝江崎新聞店
株式会社藤枝江崎書店

代表取締役
会長 江崎 友次郎

サツカーの町藤枝
〒426-0025 静岡県藤枝市藤枝一-四-1-12
TEL 〇五四-六四四-六〇六〇
FAX 〇五四-六四四-五二九〇

社会保険労務士法人大槻経営労務管理事務所

名誉会長 大槻 哲也

〒104-0061 中央区銀座一-1-6-17
TEL 五五二-四一-七〇一
FAX 五一五-九一七-三六五

HOYAサービス株式会社

代表取締役
社長 大原 幸男

〒164-8545 中野区中野四-1-10-12
中野セントラルパーク サウス6F
TEL 五九一-三二-300
FAX 三二二-八三-118

ベップ・メイツ株式会社

代表取締役
大前 実之

〒103-0011 中央区日本橋大伝馬町一-〇-1-4F
TEL 三六六-三二-八二七
FAX 三六六-三二-八二八

安全と信頼の警備
タイヨー株式会社

最高顧問 大村 託現

〒124-0023 葛飾区東新小岩五-1-8-1-12
TEL 五八七-五七-三五〇
FAX 五八七-五七-三六〇
タクミビル2F

株式会社アマダホールディングス

代表取締役
兼CEO 岡本 満夫

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田二〇〇
TEL 〇四六-三一九六-1-1-1
FAX 〇四六-三一九三-1-1-1

株式会社カナエ

代表取締役
社長 金子 圭太

〒105-0013 港区浜松町二-1-10-1-2
TEL 三四三-二一五-410
FAX 三四三-七六六-618
カナエ本社ビル

株式会社ホテルグランドパレス

代表取締役
社長 河村 博

〒102-0072 千代田区飯田橋一-1-1-1
TEL 三三六-四一-1-1-1
FAX 三三六-四一-五-496

木下サーカス株式会社

代表取締役
社長 木下 唯志

〒700-0822 岡山市北区表町三-1-3-1-1-3
TEL 〇八六-1-3-1-1-411

株式会社大和総研ホールディングス

代表取締役
社長 草木 頼幸

〒135-8460 江東区冬木一-五-1-6
TEL 五六二-〇一五-〇二〇

野村不動産ホールディングス株式会社

取締役
社長 沓掛 英二

〒163-0566 新宿区西新宿一-1-2-6-1-2
TEL 三三四-五-〇三九三
新宿野村ビル

日本電子株式会社

代表取締役
社長 栗原 権右衛門

〒196-8558 昭島市武蔵野三-1-1-1-2
TEL 〇四二-1543-1-1-1-1
FAX 〇四二-1546-1-1-1-1
<http://www.jeol.co.jp>

株式会社協成

代表取締役
社長 古賀 慎一郎

〒162-0843 新宿区市谷田町三-1-2-7
TEL 三三六-〇一五-326
FAX 五二六-1-1-7-〇八五
千代田ビル

株式会社スヴェンソン

代表取締役
社長 児玉 圭司

〒107-0052 港区赤坂一-1-9-1-1-3
TEL 三五八-六-〇〇-1-1
FAX 三五〇-三-1-五-七九七
三合堂ビル5F

総合物流をはじめとする多彩なサービスを
「お客様のご満足」と「安全」をモットーに
提供し続ける会社、それがアサガミです



アサガミ株式会社

本社: 東京都千代田区丸の内3-1-1
Tel (03) 6880-2200 fax (03) 6880-2230
<http://www.asagami.co.jp/>



<p>金印株式会社 代表取締役 会長 小林 一光</p> <p>〒103-0012 名古屋市中区栄三ー一八ー^一 ナディアパークビジネスセンタービル三三F TEL 〇五二ー二四二ー〇〇〇八 FAX 〇五二ー二四二ー〇〇〇九</p>	<p>東神興業株式会社 代表取締役 根田 吉雄</p> <p>〒167-0043 杉並区上荻一ー二三ー一九 TEL 五三三五一六八六一 FAX 五三三五一六八六〇</p>	<p>明治大学マスコミクラブ 常任顧問 齊藤 柳光</p> <p>〒330-0855 さいたま市大宮区上小町九四五 TEL 〇四八ー六四四ー〇〇八五 FAX 〇四八ー六四四ー〇三〇六</p>
--	--	--

<p>株式会社社屋 代表取締役 社長 瀬戸 正道</p> <p>〒144-0051 大田区西蒲田七ー四三ー一 TEL 三七三三ー七一一 FAX 三七三三ー七一一五</p>	<p>株式会社サイナス 代表取締役社長 公認会計士 坂田 英夫</p> <p>〒103-0027 中央区日本橋三ー五ー一三 三義ビルF TEL 三二七五ー〇八〇八 FAX 三二七五ー〇八〇〇 (株)明大サポ ート監査査役</p>	<p>六興電気株式会社 取締役兼 執行役専務 坂本 孝行</p> <p>〒105-0012 港区芝大門一ー一ー三〇 TEL 五四〇四ー六七六一 FAX 五四〇四ー六七一一</p>	<p>株式会社シティ・ハウジング 代表取締役 佐藤 仁</p> <p>〒144-0034 大田区西糀谷四ー二八ー一八 TEL 三七四二ー七六〇七 FAX 五七〇五ー一八〇九七</p>
--	---	--	--

<p>学校法人新潟大原学園 理事長 高橋 淑浩</p> <p>〒950-0086 新潟市中央区花園一ー三ー三 TEL 〇二五ー二四六ー八八八八 FAX 〇二五ー二四六ー一八八八</p>	<p>アイルコーポレーション株式会社 代表取締役 社長 田口 幸隆</p> <p>〒230-0061 さいたま市浦和区常盤五ー二一ー一八 TEL 〇四八ー八三二ー二五一四 FAX 〇四八ー八二四ー八八四〇</p>	<p>時計ヘルト・貴金属製品製造 株式会社バンビ 代表取締役 会長 館林 精二郎</p> <p>〒110-0016 台東区台東四ー三二ー一 TEL 五六八八ー〇一一 FAX 五六八八ー〇一一九</p>	<p>連合駿台会 会長 田村 駿</p> <p>〒154-0012 世田谷区駒沢二ー二四ー三 TEL 〇九〇ー四三七〇ー五三三二 FAX 三三二二ー一〇八三</p>	<p>日本アジア証券株式会社 顧問 当山 明彦</p> <p>〒103-0016 中央区小網町一ー二一ー七 TEL 三六六八ー六九七一 FAX 三六六八ー三三四三</p>
---	---	---	---	--

船用照明器具・船用配線器具・船用信号器具・船用配電盤
ヘリコプタ着船援助器具・高耐水性照明器具
ISO 9001:2008認証工場

— 信頼と実績に応え、未来に挑戦する集団 —



大石電機工業株式会社

代表取締役社長 **大石 哲也** 昭和63年工学部卒業

〒140-0011 東京都品川区東大井2-17-9

TEL 03-3761-2166 (代表)・FAX 03-3761-4851

<http://www.ohishi-denki.co.jp>



徳丸織物株式会社

代表取締役
徳丸平太郎

〒335-0001 埼玉県蕨市北町三一五一-14
TEL & FAX ○四八-四四三-二〇五〇

株式会社スパーク

取締役
長崎清正

〒733-8648 広島市西区商工センター二一七-三三
TEL ○八二-二七六-四八〇九
FAX ○八二-一五〇-一四八-〇

株式会社ナガホリ

会長
長堀守弘

〒110-8546 台東区上野一-一五-13
TEL 三八三六-四七-13
FAX 三八三五-〇八-15

中根税務会計事務所

所長
中根武

〒170-0003 豊島区駒込一-一-二-16
レジデンス六義園一階
TEL 三九四五-八五九-四
FAX 三九四五-八五四-一

株式会社ナミキ

代表取締役
並木洋一

〒175-0094 板橋区成増三-1-21-1
TEL 三九三九-〇〇-28
FAX 三九七五-〇〇-56

西山商事株式会社

代表取締役
西山武夫

〒201-0004 狛江市岩戸北四-1-9-1-2
TEL 三三八〇-1-42-0
FAX 三三八〇-1-43-65

ネットトヨタ水戸株式会社

取締役
長幡谷公朗

〒310-0851 水戸市千波町一 九八八
TEL ○二九-1-24-1-31-21
FAX ○二九-1-24-3-26-44

株式会社バンダイロジナル

代表取締役
長馬場範夫

〒124-8585 葛飾区東四つ木四-14-21-5
TEL 三六九五-151-51
FAX 三六九五-152-60

株式会社富士設備

監査役
原田榮

〒161-0031 新宿区西落合四-17-1-4
TEL & FAX 三九五二-二八五九

日本リック株式会社

最高顧問
日高憲三

〒102-0072 千代田区飯田橋四-18-1-3
タカラビル
TEL 五二二六-165-51
FAX 六二七二-189-76

ひらかわ環境デザイン

所長
平川清

〒343-0117 埼玉県北葛飾郡松伏町中二-15-1
TEL & FAX ○四八-1-99-1-29-36
明建会(明治大学理工学部建築学科OB会)会長

岡部株式会社

取締役
長廣渡眞

〒131-8505 墨田区押上二-18-1-2
TEL 三六二四-151-11
FAX 三六二一-161-7

フジ企画株式会社

代表取締役
長藤代耕一

〒221-0021 横浜市神奈川区子安通一-23-1-6
TEL ○四五-1433-101-01
FAX ○四五-1433-106-00



『防水と屋上を総合的にプロデュースする』

総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号

TEL 03-3882-2424

代表取締役社長 相臺公豊

専務取締役 相臺志浩



ミズ太郎

本間美邦税理士事務所
 所 長 本間美邦
 〒102-0083 千代田区麴町四一三一五
 紀尾井観光ビル
 TEL 三三六五一一六一
 FAX 三三六五一一〇七

弁護士
 堀越孝

メトロ電気株式会社
 代表取締役
 会長 藤巻伴英
 〒101-0063 千代田区神田淡路町一一九一四
 TEL 三二五三三三〇三六
 FAX 三二五五一一三九九四



TOCキャバシタ株式会社
 代表取締役
 社長 丸山律夫
 〒394-0011 長野県岡谷市今井一五二二五
 TEL 〇二六六一七五一一五七八八
 FAX 〇二六六一七五一一五八〇五

高野山真言宗妙智山歆成院名誉住職
 宗教学士 大倉山アソカ幼稚園名誉園長
 摩尼和夫
 (僧名之 法)
 〒222-0037 横浜市港北区大倉山二一八一七
 TEL 〇四五一一二〇二〇五四
 FAX 〇四五一一四一四一四

株式会社松本商会
 代表取締役
 社長 松本伸一郎
 〒354-0021 埼玉県富士見市鶴馬三四六八
 TEL 〇四九一一〇六一〇六一
 FAX 〇四九一一二五一一八八〇〇

株式会社ニートRV
 取締役 松崎優子
 〒279-0011 千葉県浦安市美浜三一一九一四
 TEL 〇四七一一三五一一六八六二
 FAX 〇四七一一三八一一五五〇五

蛇の目ミシン工業株式会社
 代表取締役
 会長 眞壁八郎
 〒193-0941 八王子市狭間町一四六三三
 TEL 〇四二一六六一一三〇七二
 FAX 〇四二一六六一一三〇七二

杉交グループ
 ハイヤータクシー貸切小型バス
 代表 森省三
 〒102-0081 千代田区四番町四
 TEL 三三六五一一〇七七

明治大学校友会 名誉会長
 村山富市

株式会社ダイニチ
 代表取締役
 六井元一
 〒279-002 千葉県浦安市北栄一六一一六一三
 DNプラザビル
 TEL 〇四七一一三五四一〇二二三
 FAX 〇四七一一三五四一〇一九
<http://www.dainichi.co.jp>

株式会社内田洋行
 顧問 向井眞一
 〒104-8282 中央区新川二一四一七
 TEL 三五五五一四〇〇一
 FAX 三五五五一四六二〇

ハードプロテクト株式会社
 代表取締役
 会長 宮下隆
 〒170-0005 豊島区南大塚三三三二一一〇
 TEL 五九五〇一六六六五二
 FAX 五九五〇一六六六五二



寒中見舞いはがき 印刷承ります





株式会社
マイプリント

〒206-0025 東京都多摩市永山6-11-11
 Tel 042-337-8111(代表) Fax 042-337-8121
<http://www.myprint.co.jp>



学校法人明治大学

理事長 柳谷孝

〒101-8301 千代田区神田駿河台一―
TEL 三二九六―四〇〇〇
FAX 三二九六―四三二八

株式会社やまたけ

常務取締役 山口 大介

〒123-0841 足立区西新井五―三五―一三
TEL 三八九九―三七三七
FAX 三八九九―四六七二

共同印刷株式会社

顧問 山口 政廣

〒112-8501 文京区小石川四―一四―一二
TEL 三八一七―二二二二
FAX 三八一七―二二二〇

株式会社不二家

代表取締役 会長 山田 憲典

〒112-0012 文京区大塚二―一五―一六
ニッセイ音羽ビル
TEL 五九七八―八一三三
FAX 五九七八―八六三三

株式会社日本金属工芸研究所

取締役会長 彫刻家 山田 朝彦

〒113-0023 文京区向丘一―六一―一二
TEL 三八一―七七〇九
FAX 三八一―三〇〇三

株式会社シンメイ

代表取締役 会長 湯川 孝則

〒226-0013 横浜市緑区寺山町八六三
TEL 〇四五―九三七―三三二二
FAX 〇四五―九三七―三三六七

金魚の吉田 株式会社ヨシタ

代表取締役 社長 吉田 信行

〒124-0023 葛飾区東新小岩五―一四―一七
TEL 三六九四―三七五一
FAX 三六九四―三七五三

株式会社東京精密

代表取締役社長 兼CEO 吉田 均

ACCRETECH
〒192-8515 八王子市石川町
TEL 〇四二―六四二―一七〇一
FAX 〇四二―六四二―一七九八

桜神宮

宮司 芳村 正徳

〒154-0014 世田谷区新町三―二二―一三
TEL 三四二九―〇八六九
FAX 三四二九―七四五二

フォーデイズ株式会社

代表取締役 社長 和田 佳子

〒103-0025 中央区日本橋茅場町一―三一―二一
TEL 五六四三―〇六五一
FAX 五六四三―〇六五二

藤浦産業株式会社

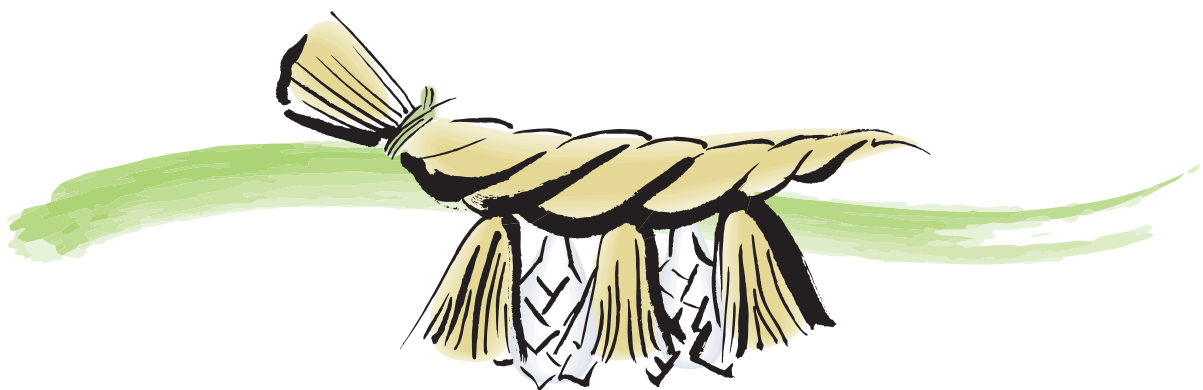
代表取締役 渡辺 正三

〒570-0002 大阪府守口市佐太中町三―二二―二八
TEL 〇六一六―九〇三―三三三一
FAX 〇六一六―九〇五―六七六七

株式会社洋日

代表取締役 渡邊 洋三

〒359-0038 埼玉県所沢市北秋津七三九―一六二
COZYレジデンス一F
TEL 〇四一―二〇〇八―二九八八
FAX 〇四一―二〇〇八―二九六六



連合駿台会十一月例会

「男と女の脳科学」

「女心のつかみ方、男心の癒し方」

脳科学コメンテーター・感性アナリスト

黒川伊保子 氏



連合駿台会恒例の一足早い忘年例会が、百人を超える参加者のもと、十一月十六日（水）十七時四十五分より、明治大学紫紺館で、黒川伊保子氏をゲストスピーカーとして開催しました。

当日の講演の要旨は以下の通りです。

*

人工脳研究でわかったこと

「人生に聞く」ということは、女心をつかむ」ということにかんがりの部分が終わっており、脳が作り出す「男女の溝」の話が講演の

大部分になると思う。私は一九八三年に大学を卒業後、富士通の人工知能の研究室に配属になったが、この年は、私たちの業界では後に「AI（人工知能）元年」と言われるようになる。二〇一六年三月、世界最強の囲碁棋士にグーグルの開発した人工知能プログラムが勝利して、とうとう人類が人工知能に負けたというセンセーショナルなニュースとともに、世界中で人工知能シンдрーム（正確には第三次人工知能ブーム）が起こっている。私が入社した頃は第二次人工知能ブームの前夜に当たる頃で、実は第一次ブームは一九五〇年代にすでにあったが、人工知能の開発が盛んだったのは主に軍隊のある国で、無人兵器用に研究費を投入していたので、敗戦から間もない日本は関与していなかった。

しかし八〇年頃、ある通産省（当時）のキーマンが「二十一世紀は人工知能の世紀になる、二〇一五年を越えるとロボットが人との間にいるようになる」と指摘された。ではそういう世界になった時、人はどうやってロボットとコミュニケーションを取るのか？ 特にどのように対話したらストレスなく心地よく共存できるのか？ というテーマで研究も始まり、一千億円もの予算を投じて十年計画の人工知能の基礎研究機関が立ち上がり、私はその新世代コンピュータ開発機構（通称・アイコット）に参画することになった。

八五年、富士通は世界初の脳細胞のネットワーク構造をモデル化したニューラルチップを開発し、小さなロボットを動かした。その時モデル化した脳細胞の数は三十九個だったが、今春、人間の囲碁棋士に勝った人工知能は二百二十万個の脳細胞をモデル化したものだ。しかし人間の脳には一千数百億個もの脳細胞があるとされており、人工知能が人間の脳を超えることはまだ遠く、おそらく二十世紀を待たなくてはならないだろうが、志もなく、人に心を寄せることもなく、社会を案じることもなくパターン化された仕事をしている人たちの仕事は奪われていくと思う。

三十五年前、私はやがて到来するロボット社会で心地よく共存するための、人とロボットとの対話研究のミッションを任された。チームの私以外のメンバーは全員男性だった。最初の打ち合わせでかなり絶望した。というのも人とロボットとの対話以前に、男性たちとまるで対話が成り立たないと痛感したからで、理由は対話のモデルがまるで違う、つまり男性と女性の対話モデルはまるで違い、一緒にはできないと思ったからだ。もっと言えば、話の方向が「真逆」なのである。女性性（女性）は物事の発端から話したい「プロセス志向型」であり、発端から経緯を語り、気持ちよく共感させたい。話が終わる頃には無意識のうちに脳が真理を見つけ、もう

結論が出ています。多くの場合は自分が反省したりして、美しく帰結する。ところが男性の対話は真逆の「ゴール志向型」で、話の目的は何か、この目的に美しく至るための問題点をいち早く探し、その問題点を解決することに全力投球する、いわば狩猟型。つまり女の話は始めから、男の話は終わりから……、とベクトルがまるで違うから、一つのコントローラーの中に混ぜて作ることはできない。

これを人工知能に当てはめれば、ロボットとの対話は女性脳型の「プロセス志向共感型エンジン」と男性脳型の「ゴール志向問題解決型エンジン」の二つに分けて作って、ハイブリットにして搭載するしかない。というわけで、私の人工知能研究人生は面白い方向に羅針盤が指し始めた。つまり男女や年齢、あるいは方法（たとえば人生最初に獲得した言語など）によっても脳の回路構成が大きく違ってくる。私たち人工知能研究者は脳を「装置」であると捉え、どのような入力に対し、どのような演算を施し、どのような出力をしてくる装置か、と考える。心という機能を内在した人の臓器を装置として見るなんて乱暴なことのように感じられるかもしれないが、脳というのは装置として見立てやすい。

私たちの脳は、ニューロンと呼ばれる脳神経細胞を縦横無尽にネットワークしている神経線維によって構成された回路によってできあがっている。この回路に電気信号を流すことで脳はイベントのすべてを行っており、つまり脳とは一種の電気回路なのだ。さらに重要なことは、必要な時に必要な回路にだけ電気信号が流れることである。脳内にある天文学的数の回路の中から、瞬時に動かすものを知ることは人生のキーポイントである。加えて私たちの脳は二十八年ごとに位相（世界観）が変わる。最初の二十八年はもっぱら入力装置であるが、出力精度がピークになるのは、五十六歳から八十四歳までの二十八年間で、ここが人生で最も使い甲斐のある時期でもある。また脳は電気回路なため驚くほど精緻な周期性があることもわかってきており、その中には大衆全体で重なるものもあり、これが時代の趨勢ともいえる。

女性は共感を得て脳のストレスを解消する

脳を装置として見立てると、最初に見えてくるのが「男女の溝」である。男女の脳は回路の構成と信号特性が大きく違う。私はよく炊飯器とオーブントースターにたとえる。オーブントースターでご飯が炊けないことは先刻承知だから当然と受け止めるが、私たちは異性の脳に対しては、持っていない機能を持つていると思ひ込んでイラついてしまう。自分たちとはまったく違う装置なので、もの考え方をガラリと変えなくてはならない。ある例を出して考えてみよう。もし奥様から「今日は腰が痛いのよ」と言われたら、あなたは何と答えるだろうか？ 日本の成熟男性のほとんどは「医者に行ったのか？」と言うのだそうだが、こんな冷たい言葉はない。また気を遣って「腰を揉んでやろうか？」と言うのも、余計なお世話なのでNG。先ほども述べたように、女性の会話の目的は共感が第一なので、同じ会話が女性同士になると、ほぼ全員が「えー、腰が痛いのか？ それ辛いよね」ということになる。相手の言葉の反復と同情は、会話のはじめの「お約束事」であり、共感してもらおうと脳のストレスが解消することを忘れてはならない。女性は怖い・ひどい・辛い、あるいは可愛い・美味しい・嬉しい・きれいでいいが、突出した感情が沸き起こった時に、強い余剰ストレス信号が起こり、それが男性の何十倍も強く長く残る。理由は女性が哺乳類のメスだからである。哺乳類のメスは自分の中で子供を産む程度大きくしてから産み、その後も自分で授乳するので、自分自身が健全であることが種の保存の第一義であるため、自己保全の信号が非常に強く流れる。ところが共感を得ることによって、余剰のストレス信号を解消できる。すなわち「共感」は特に大事なのだ。

さらに女同士の場合は共感する側にも利が生じる。他人の知識が自分の知恵になって脳の中にしまわれ、ある種の体験記憶がこんな

形で入っていく。この時の心の動き（＝情動）の見出しには紐が付いているので、何かが動いた時、それによく似た紐を引っ張るので、過去の関連記憶が〇・六秒で、早い時には〇・〇六秒で脳裏にすべて展開される。よく女性は過去のことを蒸し返すというが、この形式で蓄積されたデータに基いており、女性の会話は共感を得てピリオドを打つ。一方、男性は問題解決のために会話をするので、会話が始まったからこの会話の目的は何で、その問題は何かとすぐ考える。よってたとえ男性から言われたことが真実であっても、女性からするといきなり弱点を突かれた感じがして逆上するわけだ。共感のなさが女性のモチベーションを、壊滅的に下げることがを覚えておいて欲しい。脳の構造が違うのだから、共感しろなどとは言わないが、まずは受け止めの共感が肝要である。

また、女性は過去のすべてを一瞬に思い出して、再体験することによって、もう一回傷ついている。したがって目の前で大切な女性が切れても、男性にはこの一回がいかに些細か説明する権利も暇もないのだ。つまり謝るしか打つ手がないのである。しかし切れた女性にいくら謝っても火が消せないことは皆さんご存知だろうから、切れる前にきちんと誤っておくという「処方箋」をさしあげておこうと思う（笑）。女性は切れる前に答えよ

うのない質問、たとえば「あなたってどうしてそうなの？」などと言ってくるので、その時は謝られているだろうが、その謝り方の九八％は間違っていると思う。「ゴメン、ゴメン！」、ゴメン二回はまったく無意味で、いきなりゴメンと言うくらいなら謝らなくて結構。共感してから謝る……、これは基本中の

【講師略歴】

黒川伊保子（くろかわ いほこ）

一九五九年、長野県生まれ、栃木県育ち。

一九八三年、奈良女子大学理学部物理学科卒。（株）富士通ソーシアルサイエンスラボラ

トリにて、十四年に巨匠人工知能（AI）の研究開発に従事した後、コンサルタント会社勤務、民間の研究所を経て、二〇〇三年（株）感性リサーチを設立、代表取締役就任。

二〇〇四年、脳機能論とAIの集大成による語感分析法「サブリミナル・インプレッション導出法」を発表。サービス開始と同時に化粧品、自動車、食品業界などの新商品名分析を相次いで受注し、感性分析の第一人者となる。

二〇〇五年、倉敷芸術科学大学非常勤講師就任。

二〇〇六年、大前研一アタッカーズビジネススクールで、感性マーケティング講座を開講。

<http://www.ihoko.com/>

<http://www.kansei-research.com/>

基本である。「仕事と私のどっちが大事なの？」と聞かれたら、「ああ、君に淋しい思いをさせてゴメン」が正しい答え、「奥様と私とどっちが大事なの？」と愛人から聞かれている方がいらしたら、「すまない、大事なのは妻だ。しかし愛しているのは君だよ」がベストである（笑）。

【著書】

『日本語はなぜ美しいのか』（集英社新書）、『恋愛脳〜男心と女心は、なぜこうもずれ違うのか』『夫婦脳〜夫心と妻心は、なぜこうも相容れないのか』『運がいいといわれる人の脳科学』『家族脳〜親心と子供心は、なぜこうも厄介なのか』（新潮文庫）、『しあわせ脳に育てよう』（講談社）、『脳育ての黄金ルール』（芽ばえ社）、『ことばに感じる女たち』（ワニ文庫）、『無邪気な脳で仕事をする』（ファーストプレス社）、『いい男は「や行」でねぎらう』『いい女は「は行」で癒やす』（宝島新書）、『キレル女懲りない男〜男と女の脳科学』（ちくま新書）

『ちょっとしたことでも大切にされる女（ひと）』報われない女（ひと）（三笠書房・二〇一五年二月発売）、『鈍感な男 理不尽な女』幻冬舎・二〇一五年八月発売）、『英雄の書〜人生に立ち向かうための脳科学』（ポプラ新書・二〇一五年九月発売）、『女は覚悟を決めなさい〜人生に立ち向かうための脳科学』（ポプラ社二〇一六年十月発売）

次に熟年離婚防止策の大切な処方箋の話。熟年離婚をした元妻に「夫に離婚を切り出す時の最初のセリフを教えてください」というアンケートをとったところ、「一緒にいる意味がわからない」が第一位だった。つまり一緒にいる意味を問われたら、これは最後通告と思えばいい。自分のほうにも別れる気が満々ならここで沈黙を通せばOK、だが離婚する気もないのにこれを言われたら大ピンチだ。一秒たりとも間をあげないで、即座に憤慨して「バカなことを言うなよ、一緒にいるだけで意味がある」と……。でもこれだけで止めるのはダメで、「そんな女、お前だけだよ」ということを「咬まずに」続けることが大切だ。三つも覚えられないという方には、新宿ナンバーワンホストから聞いたネタを教えよう。「君にそんなことを言わせたことが悲しい」、これですべて解決するそう。ただ、この言葉は似合う方とそうでない方があるので、お間違えのないように（笑）。

ちなみに、専業主婦に聞いた、夫から言われた言葉でムツときた言葉の第一位は「誰のおかげで食べているんだ」、二位は「言ってくればやるのに」、四位は「おかず、これだけ？」だそう。言ってくればやるのに」というのは、男性が察していないということ、これは男性の特性であり、鈍いわけではなく、男らしさであり、男の優しさで解

積することもできる。しかし察しないことは仕方ないとしても、察してくれなかったことで女性は深く傷ついているのだから謝って欲しい。「言えばいいだろう」は、人生最大のNGワードと思うべきで、この代わりに「気づいてあげられなくてゴメンね」と言おう。

まとめ

男性脳と女性脳では、脳幹の太さが違うので、どうしてもわかってあえないと頭にきたり、悲しかったりするけれど、男と女では違う装置だと思えば、がっかりすることもなくなる。つまり、諦められるようになる。

〈女性脳の特徴〉

- ・たとえ五十年前のことでも、〇・六秒あれば思い出せる
- ・察する力が強い
- ・共感力が高い
- ・男性にとつて意味がないようなことで会話できる↓女性の遺伝子的なもの。女性にとつて意味がないことは一つもなく、たわいない会話からでも、将来、記憶から取り出して役に立てることができる

〈男性脳の特徴〉

- ・察する力が弱いことで、生存本能が高まる
- ・遠くにいる獲物をキャッチできるような遺伝子でできているので、近くにいる人（妻・家族・恋人）の変化に気づきにくい
- ・結論や問題解決が好き

男性は女性が情緒不安定になった時は、話を聞いてあげて、共感し、気付かなくてごめんと謝ることが大切。女性は男性が結論から言っただけを知っておくこと。相手を思いやり言動や行動を改めることによって、より良い夫婦生活を送ることができる。

◆新入会員ご紹介

前会までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。（敬称略・到着順）



みやざか 寿彦
昭和五十一年・政経学部卒
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)
代表取締役社長
東京都杉並区在住



たなか 孝明
昭和五十五年・工学部卒
株式会社イタリアントマト
代表取締役社長
神奈川県藤沢市在住



おしきり 敏範
昭和五十五年・商学部卒
朝日航空(株)・代表取締役社長
東京都稲城市在住



なかざと 剛志
昭和四十一年・商学部卒
学校法人明治大学
財務担当常勤理事
千葉県浦安市在住



はら ひろし
昭和六十二年・政経学部卒
大和証券(株)・常務執行役員
神奈川県川崎市在住



さの 啓一
平成二年・政経学部卒
大和証券(株)・執行役員
神奈川県横浜市在住



たかせ 伸英
昭和五十九年・政経学部卒
日本出版販売(株)・常務取締役
千葉県市川市在住

◆明大ニュース

●文部科学省私大研究ブランディング事業明治大学の取り組みが選定

文科省の平成二十八年年度「私立大学研究ブランディング事業(タイプB)」に、明大から申請していた事業「Math Everywhere」が数理科学する明治大学—モデリングによる現

象の解明—」がこのほど選定された。全国百九十八校から申請があり、「タイプA(社会展開型)」に十七校、「タイプB(世界展開型)」に本学を含む二十三校が選定された。

●創立者出身地・鳥取市と

連携協力に関する協定を締結

明治大学は十一月十三日、創立者・岸本辰雄の出身地である鳥取市と、連携協力に関する協定を締結した。市役所で行われた締結式には、明大から土屋恵一郎学長、鈴木利大務担当常勤理事、矢ヶ崎淳子社会連携副機構長が、鳥取市からは、深澤義彦市長、木下法広教育長らが列席。関係者が見守る中、土屋学長、深澤市長が協定書にサインした。

●トップメッセージフォーラム二〇一六

土屋学長が登壇

日本経済新聞社主催の「大学の約束」トップメッセージフォーラム二〇一六」が十一月二十一日、日経ホール(東京都千代田区)で行われ、第二部で行われた大学トップセッションに土屋恵一郎学長が登壇した。グローバル人材やリベラル・アーツ教育について意見を求められた土屋学長は、「グローバル人材」といって、英語を話せる」という側面が強調されがちだが、それだけでは不十分。異なる場所からやってきた人々の価値観、文

化、哲学、宗教を学び、互いに認め合い、どのように自分の文化から離脱して世界市民となるかが重要。そのために、明治大学はリベラル・アーツ教育を重視し、学生が多様性を学ぶ場を提供していく」と力強く語った。

●「自己点検・評価報告書」を

評価委員会委員長に提出

土屋恵一郎学長(自己点検・評価全学委員会委員長)は十二月十九日、自己点検・評価規程に基づき、「二〇一五年度自己点検・評価報告書」を柳谷孝理理事長(自己点検・評価評価委員会委員長)へ提出した。この報告書は、学部・研究科などの全五十三機関が自己点検・評価活動を行い、自己点検・評価全学委員会や同全学評価部会が全学的な観点から取りまとめたもので、十二月十三日開催の自己点検・評価全学委員会において承認された。

●農学部が七〇周年を迎える

記念講演会、記念植樹を実施

一九四六年、前身の明治農業専門学校が設立されて以来、時代と社会の要請に応じて教育・研究を進めてきた農学部。このたび、創立七〇周年を記念した各種事業が生田キャンパスで実施された。『生明祭』期間中の十一月十九日、創立七〇周年記念講演会が生田キャンパス・中央校舎メディアホールで開催

された。十一月二十四日には、生田キャンパス内にある農学部五〇周年記念庭園（「植村直己記念碑」脇）において、記念植樹のセレモニーが実施された。

●公認会軽視試験 明大生四十五人が合格

金融庁の公認会計士・監査審査会は十一月十一日、二〇一六年の公認会計士試験合格者を発表した。最終合格者数は千八百八人（前年千五百十一人）で、合格率は一〇・八%（前年一〇・三三%）だった。明治大学関係の合格者は六十九人（十二月八日現在、明治大学経理研究所調べ）。この発表を受け、経理研究所は十二月九日、現役合格した学生を対象とした報奨金授与式を駿河台キャンパス・岸本辰雄ホールで執り行った。今回合格した現役学生は商学部二十人、政治経済学部七人、経営学部十四人、総合数理学部一人、会計専門職研究科三人の計四十五人（前年二十一人）。このうち、本学の公認会計士養成機関である経理研究所特別会計研究室に所属する学生四十一人に報奨金が授与された。

●OB市長・町長

▽栃木県宇都宮市長（十一月二十日投開票）
佐藤栄一氏（無所属④、一九八五年法学部卒・五十五歳）

▽新潟県南魚沼市長（十一月二十日投開票）

林茂男氏（無所属①、一九九二年政経学部卒・四十九歳）

▽福井県勝山市長（十一月二十七日投開票）

山岸正裕氏（無所属⑤、一九六八年法学部卒・七十一歳）

▽神奈川県箱根町長（十月三十日投開票）

山口昇士氏（無所属⑤、一九六七年商学部卒・七十二歳）

▽長野県下諏訪町長（十一月二十日投開票）

青木悟氏（無所属④、一九七七年政経学部卒・六十二歳）

▽岐阜県関ヶ原町長（無投票当選）

西脇康世氏（無所属②、一九七六年法学部卒・六十四歳）

●OB社長

▽日置電機（電気機器・東証一部）〓細谷和利氏（一九七九年工学部卒・六十一歳）

●来なんせ、創立者・岸本辰雄のふるさとへ「第五十二回 全国校友鳥取大会」を開催

明治大学校友会は十一月十三日、「第五十二回全国校友鳥取大会」を鳥取市・とりぎん文化会館梨花ホールで開催した。創立者の一人・岸本辰雄の出身地での開催とあって、日本全国、大韓民国支部から約九百人の校友が参集。秋晴れの空の下、笑顔で旧交を温める姿が多数見受けられた。

●二〇一七年度理工学研究科が専攻を再編
統合一専攻、新設三専攻で新たに始動

二〇一四年に創立七〇周年を迎え、次世代へ向け新しい歩みを始めた理工学部。それに合わせ、大学院理工学研究科では、グローバル化された持続性社会の発展に寄与する学問体系を構築すべく、二〇一七年度より博士前期課程および博士後期課程を共に新しい枠組みに再編する。建築学専攻と新領域創造専攻を発展的に統合し、「建築・都市学専攻」に再編して互いの連携を強化。また、同研究科においてこれまで唯一の理学系専攻であった基礎理工学専攻を母体に、学問分野に立脚した「情報科学専攻」、「数学専攻」、「物理学専攻」の三つの独立した理学系専攻に再編する。さらに、電気工学専攻、機械工学専攻、応用化学専攻の定員を変更し、新たな理工学研究科としてスタートする。

●シェイクスピアプロジェクト

過去最多三千九百五十人を動員

明大生が壮大なシェイクスピア劇に挑む「明治大学シェイクスピアプロジェクト」の第十三回公演『Midsummer Nightmare』が、十一月十一日～十三日の三日間（全五回）、駿河台キャンパス・アカデミーホールで上演された。今回は、世界でも前例の少ない『夏の夜の夢』と『二人の貴公子』の二部構成に

挑戦し、太陽の恋に溺れ、月夜の狂気に踊る、シェイクスピア劇を上演。過去最多となる三千九百五十人を動員した。第十四回公演となる次回は、『トロイラスとクレシダ』の上演が予定されている。

●硬式野球部・明治神宮野球大会制覇

柳・星のWエースが有終の美

全国の大学野球連盟から選ばれた代表校十校がトーナメント方式で戦う明治神宮野球大会で、明大は二回戦を関大に4-1、準決勝を上武大に3-0で勝利し、決勝に進出。

十一月十六日の決勝では、初回到二点を先制されるも、五回、四球や連打で一挙に逆転。投げては、柳裕也主将(政経4)―星知弥投手(政経4)の継投で、桜美林大打線を抑え、見事、秋の大学日本一に輝いた。

●駁台体育会

リオ五輪メダリストに功労賞を贈呈

明大体育会のOB・OGによる親睦団体・駁台体育会は十二月七日、二〇一六年度懇談会を駁河台キャンパス・リバティタワー二十三階の岸本辰雄ホールで開催。体育会部長や監督をはじめ、大学役員・役職者も多数列席する中、リオデジャネイロ五輪でメダルを獲得した卓球部の丹羽孝希選手(政経4)、OBの水谷隼選手(二〇一三年政経卒)、柔道

部OBの海老沼匡選手(二〇一二年商卒)の三氏に対し、国際的に顕著な功績を残したとして、功労賞を授与した。

●サッカー部から三人がJ1の舞台に

内定者記者会見

体育会サッカー部は十一月二十九日、Jリーグ各クラブへの加入が内定した三選手の記者会見を駁河台キャンパス・グローバルホールで開催した。会見には、サッカー部の井上優部長、栗田大輔監督をはじめ、河面旺成選手(政経4・大宮アルディージャ)、小出悠太選手(政経4・ヴァンフォーレ甲府)、道淵諒平選手(農4・ヴァンフォーレ甲府)が出席。会見では井上部長が「考えるサッカーを展開し、三人の選手がJリーグに内定できたことは喜ばしい」と挨拶した。

●拳法部 接戦を制し、インカレ五連覇達成

体育会拳法部は、十一月二十七日に開催された第六十一回全日本学生拳法選手権大会で優勝し、五連覇の偉業を達成した。

七人の団体戦で戦う本大会。準々決勝、準決勝と接戦を制した明大は、決勝で立命館大学と対戦した。参将戦まで1-3と苦しい展開の中、副将、大將戦で巻き返し代表戦に持ち込むと、勢いのままに、原田優介主将(法4)が見事勝利を収めた。

◆十一月例会出席者

相澤淳一、青木孝、青木幹則、青柳勝榮、秋山隆敬、浅倉晴司、安達明正、阿部倫明、新井久晴、有賀隆治、飯田和人、池田勝也、石川かおり、石橋良一、石原道勝、泉山和久、市川治彦、同ご友人、上西紘治、宇川一夫、宇敷和章(代理)、梅津章、大野正美、大原幸男、大前実之、大村託現、大山卓良、岡田茂、小山哲郎、金子圭太、栢森靖、荻部彰夫、河村博、草木頼幸、栗原権右衛門、小島清治、五味道雄、小山修、根田哲雄、斉藤春夫、斉藤弘之、坂田貞夫、坂田英夫、桜井保彦、佐藤和正、佐藤健、佐藤仁、眞田瞳、志田憲彦、杉浦伸二、鈴木紘一、鈴木隆志、同ご友人、関孝夫、同令夫人、関根均、瀬戸正道、相臺志浩、田口幸隆、同ご友人、谷原誠、田村駿、常泉邦彦、天童美德(代理)、当山明彦、徳丸平太郎、富水流孝二、長堀守弘、中村豊、並木洋一、新妻一彦、二宮充子、長谷川進一、同ご友人、幡谷公朗、埴英幸、羽生健一郎、馬場範夫、原田榮、樋口郁夫、同令夫人、弘中徹、深代尚夫、同ご友人、福田和彦、眞壁八郎、榎野泰、同ご友人、松崎優子、三浦栄治、水江博、同ご友人、宮本浩二、向井眞一、六井元一、村岡健、村山富市、室井恵明、柳谷孝、山上雅隆、山口大介、山口政廣、山路英夫、山田朝彦、弓野理恵、吉田光一郎、渡邊洋三